



まごころ便り

令和7年12月23日
荒川区立第七中学校
学校だより 12月号
校長 千葉 貴

尾久初空襲を知り、平和について考える

荒川区立第七中学校

校長 千葉 貴

年の瀬を迎え、あわただしい季節となりました。保護者・地域の皆様には本年も大変お世話になりました。

2学期は一番長い学期ですが、行事も多くあっという間に学期末を迎えました。

今回の学校だよりでは10月に実施した道徳授業地区公開講座について触れます。

道徳授業地区公開講座では尾久初空襲を語り継ぐ会の会長・加治木喜英様、弘田栄三郎様、瀬野喜代様、堀川喜四雄様、竹内明浩様をお迎えし、地域の歴史を知り、先人への尊敬を深め、平和について改めて考えることをねらいとした授業を行いました。

それぞれの方から講話があり、特に当時の体験者である堀川様のお話には胸が締め付けられる思いでした。一瞬にして日常が奪われ、未来が絶たれる悲劇は、単に歴史上の出来事ではなく現代に生きる私たちの足元で起きた現実であると痛感しました。

特に、逃げ惑う人々の様子や大切な命が失われたという証言は、戦争の理不尽さを私たちの心に強く訴えかけてきました。私たちはこの尾久で起こった痛ましい記憶を絶対に風化させてはいけなと感じました。今回の講演で平和の大切さ、平和を維持する努力の必要性を深く理解し、次の世代へ語り継ぐ責任として心に刻みました。

語り部の堀川様から空襲で亡くなったご友人に宛てたお手紙をいただきましたので、ここにご紹介させていただきます。(堀川様のご承諾はいただいております)

下川美佐男君へ

空襲の時に私の家は焼夷弾でたちまち火の海になりましたが、かろうじて九死に一生を得ました。

空襲の後の翌日、尾久警察の吉田警部補の調書に依ると、空襲の時貴方のお母さんは家の外にいたので子供の名前を上から順に「光雄、清子、美佐男、正昭」と大声で呼びました。上の2人はすぐ来たのに下の2人は姿がありません。

貴方のお母さんは潰れ家の中を腰をかがめて覗いて見ると、土の中でモゾモゾと動くものがありました。正昭君(2才)の手でした。必死になって材木を取り除いて正昭君を引っ張り出しました。人工呼吸をすると息をするようになりました。

美佐男君も一生懸命探しましたが見付ける事が出来ませんでした。貴方は材木の下敷きになり苦しかったでしょうね！口惜しかったでしょうね！無念だったでしょうね！

私は助かってゴメンね！

あの空襲から83年6カ月も経ち私は92才になりました。貴方の分まで長生きさせて頂きました。

今でもウクライナとロシアは戦争をしています。

私は戦争の悲惨さ！残酷さ！不条理を学校などで訴えています。それが生き残った私の役目であり義務だと思っています。

その役目を終えたら、私は貴方のいる世界に旅立ちます。その時は昔のように一緒に遊んでくださいね！

令和7年10月22日、初空襲体験の最後の語り部より

進路面接を通して感じた本校の「まごころ」

現在、三年生を対象に進路面接を行っています。対話の中で、生徒たちに母校の印象を尋ねると、多くの生徒が本校の校訓である「まごころ」を挙げます。「まごころを大切にしている学校だと思う」と語る姿から、三年間で確かに育まれた価値観が感じられます。

特に「地域を大切にしているところに、まごころを感じる」という声が目立ちました。行事や学習、毎日のあいさつを通して地域とつながる経験が、生徒にとって本校の校風として刻まれているのだと実感します。

義務教育を終え、新たな進路へ踏み出す今、この温かな校風を自らの指針として大切にしたいと願っています。これからのさらなる飛躍と成長を心より応援しています。

避難所開設・運営訓練開催

令和7年度避難所開設・運営訓練が荒川区防災課の主催で開催されました。参加町会は、田端スカイハイツ自治会、ニュー田端スカイハイツ自治町会、西尾久四丁目自治会、西尾久中町会、西尾久四丁目町会で、七中からも多くの生徒が参加しました。5部門に分かれて、体験を交えながら活動してくれました。中学生も「助けられる側から助ける側へ」をモットーに地域のリーダーとして活躍してくれることを期待しています。

千葉 大翔（物資部）	小池 啓仁（物資部）	中山 健吾（物資部）
佐藤 有志（物資部）	小尾 駿斗（施設管理部）	高實子 樹（施設管理部）
高良 新（施設管理部）	渡邊 司（施設管理部）	野崎 新（施設管理部）
名和ほのか（施設管理部）	柳 颯希（情報部）	岸下 清子（情報部）
古川 俊輔（庶務部）	脇山 望美（庶務部）	平岩 幌太（庶務部）
市原 幸樹（救護衛生部）	高橋 佑生（救護衛生部）	新井 翔太（救護衛生部）
坂本 新（救護衛生部）	高橋 裕太（救護衛生部）	佐竹 勇輝（救護衛生部）



フィジカルアップ・アルティメット授業公開

七中は、令和7年度と8年度の東京都体育健康教育推進校として設置されています。日頃の実践の成果として12月2日、8日、9日、11日の4日間に授業公開を実施しました。外部の講師陣【フィジカルアップ：講師 鎌田 豊 様 アルティメット講師：本名 拓 様】をお招きして、生徒の様子をご覧いただきました。ご来校いただいたみなさま、ありがとうございました。

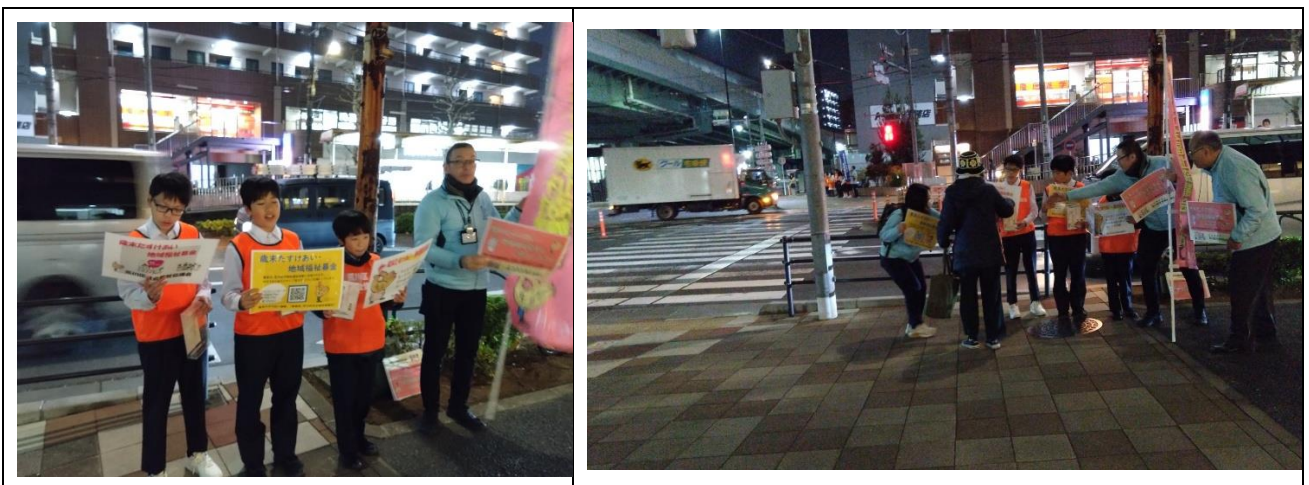


歳末助け合い運動に参加した生徒たちの姿

本校から三名の生徒が、地域の歳末助け合い運動に参加しました。寒さの残る中でしたが、三人は大きな声で呼びかけを行い、活動を支える一員として力を発揮していました。その姿には、周囲に元気を届けたいという思いと、地域の方々への感謝がにじんでいました。

ボランティア活動は、誰かのために行動することで社会の一員である自覚を育て、自ら考えて動く力を身につける大切な機会です。今回の活動に参加した生徒たちは、自主的に役割を担い、責任をもって行動していました。

地域のために自分の力を生かそうとする姿勢は、これからの学校生活にも必ずつながります。



1月の主な予定

1月 8日(木) 始業式
1月12日(月) 成人の日 タイムカプセルオープンセレモニー
1月13日(火) 専門委員会
1月14日(水) 荒川区教育研究会
1月15日(木) 中央委員会
1月16日(金) 実用英語技能検定
1月19日(月) 歯と口の健康づくり(第1学年)
1月23日(金) 荒川区連合展示会始 日本漢字技能検定
1月26日(月) 都立推薦入試日 区連合展示会終
1月27日(火) 都立推薦入試日

●表彰●

- ・全国納税貯蓄組合連合会 中学生税の作文 会長賞 3年 小林 梨乃
- ・薬物乱用防止ポスター 優良賞 2年 若山 眞子
- ・薬物乱用防止ポスター 佳作 2年 國分 彩羽
- ・薬物乱用防止ポスター 佳作 3年 澤田 真奈
- ・薬物乱用防止ポスター 佳作 2年 高橋 愛結
- ・薬物乱用防止標語 地区会長賞 1年 新井 千尋
- ・薬物乱用防止標語 佳作 1年 山川 詩穂梨
- ・2025年度第2回実用英語技能検定 2級合格 3年 澤田 真奈
- ・令和7年度荒川区文化祭俳句展示会 優秀賞 1年 佐藤 有志
- ・令和7年度荒川区文化祭俳句展示会 佳作 1年 森川 明
- ・令和7年度荒川区読書感想文コンクール 優秀賞 1年 新井 千尋
- ・実用数学技能検定 3級 3年 川上 想真
- ・日本漢字能力検定 準2級 3年 山本 千尋
- ・女子バスケットボール新人戦 女子の部 第3位
- ・女子バスケットボール優秀選手賞 菅原 和琴
- ・社会を明るくする運動 感謝状 荒川区立第七中学校吹奏楽部

※2025年12月15日現在